

# きずな



新浦安

分会

No.

28

2021・

3・11

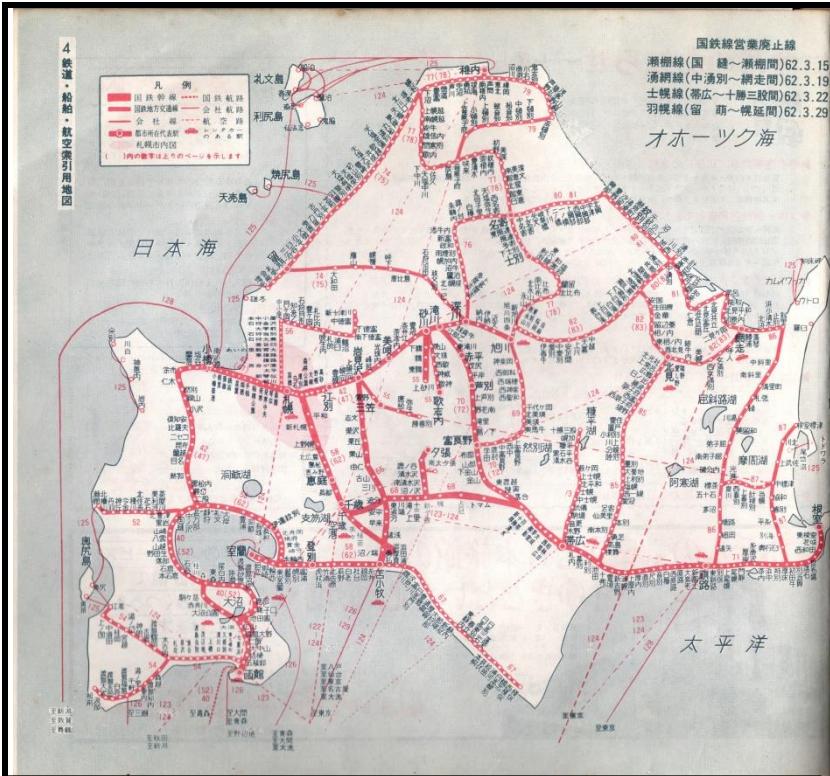
発行責任者

五十嵐 研

## 34年目の2・16

34年前のこの日、多くの仲間が明確な根拠も理由も示されないままJRへの不採用を通告されました。箇所や職種によっても違いますが勤務評定

を作成した管理者は前日付けで転勤となり、残った管理者は知らぬ存ぜぬのまま期限付きの清算事業団へと送られました。



国鉄監修1987年3月号時刻表より

本州以外の3島は経営基盤が脆弱で特に北海道は広大なため保守や除雪など必要経費が九州や四国よりかかり、行き詰まるのは明白でしたが、バブル時代の高金利に飛びつき「経営基金を設け赤字を補填する、金利で経営基金の目減りは抑えられる」と強引に押し進められました。やがてバブルは崩壊し頼みの綱の金利も下がり地元自治体や利用者が行き詰まる経営のしわ寄せを背負わされています。明治になり、西洋諸国に迫っていくべく国力を高めるために鉄道網を張り巡らせました。が今ではJR発足当時の面影はありません。「経営は成り立つ！」と言い切った者は責任を取ることなく、都合の悪いことを口にする者を排除し、経営が行き詰まると国民の財産でもある線路を剥がし続けています。

## 空白の10年？

2月13日に東日本大震災の余震と言われる大きな地震が発生し、東北新幹線は10日ほど全線での運行ができなくなりました。2011年に発生した東日本大震災後、耐震工事を進めてきました。2029年度以降に補強を検討することになってきたとこのことです。甚大な被害を受けた後、10年では耐震工事が間に合わなかったというならともかく、まだ数年先まで大丈夫だろうと思っていたのかそんな都合の良い目論見は通じませんでした。コロナ禍で利用者が減少しているとはいえ列車本数を減らし、スピードを抑えて通常より時間のかかる臨時ダイヤでの運行は「この10年何をやっていったのか？」と言われても仕方ないことです。

4月8日(木)  
地本にて11時(予定)

### 次回非番者集会

